



令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日

（公財）介護労働安定センター

愛知支部



Congrats

修了おめでとうございます



450

Pass

修了者へ贈る言葉

介護労働講習修了おめでとうございます。

105日間にわたる長い講習でしたが、皆様のご協力の下、無事に全日程を終えることができ、職員一同、感謝申し上げます。

期間中、皆さんが一生懸命努力したことは、決して無駄になることはありません。

学んだ知識や技術と併せ、支え合った仲間との絆はこれからいろいろな場面で力を与えてくれると思います。

介護の現場では、厳しいこともあるかと思いますが、それ以上にやりがいを感じることも多くあるはずです。

介護労働安定センターは、これからも皆さんを全力で応援します。

チャレンジ精神を忘れずに学んだ知識と技術にさらに磨きをかけ、利用者さんから愛され、信頼される介護のプロとして活躍されることを期待しています。

愛知支部職員一同

講

習

風

景



開講式



生活支援技術



講義



医療的ケア演習

講

習

風

景



介護過程Ⅲ実技



就職面接会

MEMORY



レクリエーション





講習を終えて



今年は46名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。

修了者の感想をご紹介します。

社会人になって以来、こんなにしっかり長い時間、勉強したことはなく、とても新鮮でした。新しいことを学ぶのは楽しかったです。教えて頂くだけでなく、教えて頂いたことをもとに、みんなで色々考え、教えあったことは、大変でしたが、その分、みんなで合格したことで喜びが倍増しました。

協力していく介護の仕事で重要なことはこの講習で体験しました。いろいろな方と協力することができるだろうと考え、この講習を選択しました。本当に思っていたとおりでした。みなさん、それぞれの事情、考えで、この講習を受講されており、皆さんの思いが伝わってきました。ありがとうございました。

未経験で介護の仕事に就く前に受講することができて本当によかった。目標が同じ仲間ができてとても心強く感じた。席替えを何回かしてくれたら、もっといろいろな人と交流することができたと思います。それが残念。

職業講習は皆で一緒に乗り切った達成感があり、とても充実した半年間でした。他の方にも勧めたいです。介護に対して熱い思いを持っている講師の方、そして受講生の皆さんに支えられ、楽しく学ぶことができました。

熱心な講師の方に教えて頂いてありがたく感じています。介護の経験が無い私でも介護の大切さ、すばらしさをよく理解できました。講習で学んだことや実技・演習は時間がたち、使わないと忘れてしまうので、介護現場で必要に応じて繰り返しの復習が大事であると思っています。





就職先を訪ねて



豊永 豊 さん

平成29年度 修了者



Q 介護労働講習で学んだことは？

A 何も知識を持たず、ただ「介護をやってみよう」という気持ちで講習を受講しました。

一緒に受講したメンバーや素晴らしい方々との出会い、少々ツライ講習期間も励ましてくれた方々。そんな出会いや学びの中で、無事修了証を受け取れることができました。こんな貴重な経験はそんなにはないと思います。お陰様で、今は介護を楽しんでやろうと思えるようになりました。

Q 実際に介護の仕事に就かれた感想は？

A 自分で選んだ仕事なので、介護職として、楽しく何事もポジティブに考えられる事ができました。利用者様との楽しい時間、又、いろいろな苦勞なのかわかりませんが、日に日に介護が楽しくなっています。

Q 講習内容などについてのご感想は？

A 最初に教えていただいたのが「人権尊重」が大事なことでした。技術も必要だと思いましたが、利用者様を軽んじない振る舞いが大切だと思いました。

Q これから受講される方へメッセージをお願いします

A 目的をもって学べる事は、最高だと思います。自分の振るまいが利用者様の笑顔になると感じて今を楽しんでいます。皆様も、「介護が楽しくて、楽しくて仕方ない」と思えると思います。是非、介護労働講習を受講してみたいはいかがでしょうか。

事業主様から一言

有限会社 みちくさ 代表取締役 城戸 千景 様

Q 普段の仕事ぶりはどうですか？

A 利用者様の日常支援へのアイデア工夫が[ぶれず、倫理観を持ちながら勤務されている豊永さんの姿をみると私自身の励みにもなります。今は小規模多機能型居宅介護の管理者として、部下にもポジティブ思考で指導することで現場のチームの絆を深めてくれています。

Q これから受講される方へメッセージをお願いします

A 介護はいつか誰にでも通る道です。介護家族になり、介護する側とされる側の両方があります。「我が事・丸ごと」と捉えて考えると、介護サービスを向上できる環境をつくるのは自分自身なのかもしれません。